

令和6年度 命を大切にする教育年間指導計画

三重県立四日市南高等学校(全日制)

目指す学校像		育みたい生徒像		命を大切にする教育のねらい
○高い志と豊かな人間性を育むとともに、一人ひとりの可能性を引き出し、自己実現と進路実現を図る。 ○自主・自律の精神を養い、未来を切り拓き、社会に貢献しようとする意思を育む。		○明確な目的意識を持って、主体的・協働的に学び、学ぶ楽しさを感じながら互いに高め合う生徒。 ○ホームルーム活動、生徒会活動、部活動、特別活動などに積極的に取り組むことを通して、豊かな感性や人権意識、自己有用感、他者と協働する力、リーダーシップ、向上心などを身に付け、社会に貢献しようとする意思を持つ生徒。		様々な教育活動を通じて、生き生きと輝く「自分」の存在を意識したり、「他者」の命の大切さや素晴らしさ、他者と共に生きる喜びを感じながら、他者と連携・協働し、これから時代を主体的に生き抜くことができる力を身に付ける。
学年	各教科・科目、総合的な探究の時間、特別活動等における年間指導計画	学年	各教科・科目	各分掌等
学期	学校行事	各学年	各教科・科目	
1学期 (4月 ～ 7月)	【健康診断・新体力テスト】 各種検査・測定を通じ、自身の健康の保持増進のため、正しい知識と実践を学ぶ。 【交通安全指導】 登下校時の交通事故防止、交通ルール・マナーについての講話を通じ、自分の身を守ることを学ぶ。 【体育祭・クラスマッチ】 競技ルールを遵守し、他者を尊重する大切さを学ぶ。	【全学年】 年度当初のHR役員や係の決定、生徒会行事等の準備において、他者と協働しながら話し合う。 【全学年】 いじめ防止アンケートの実施。 高校生活に関するアンケートの実施。 【2年生】 修学旅行（平和学習）の調べ学習等を通じて、歴史や文化、命や人権、戦争と平和の問題について学習する。	【家庭】 結婚のあり方、女性の就労、家事分担、ワーク・ライフ・バランス等について考察することで、男女が協力することの大切さを認識し、適切な人間関係を構築できるようとする。	【生徒指導部】 三重県いじめ防止強化月間（4月）にあわせ、いじめ反対運動「ピンクシャツ運動」等を推進し、いじめ防止の意識向上を図る。 【保健】 教職員向け急救救命（AED）講習・エビペン使用の講習等を実施する。 【生徒会】 体育祭・クラスマッチ等において、生徒会役員を中心に生徒主体の運営を行う経験を通じて、適切な人間関係の構築、自己肯定感の高進を図る。
2学期 (8月 ～ 12月)	【南高祭（文化祭）・クラスマッチ】 クラス企画発表の場や競技ルールを遵守することで、他者を尊重する大切さを学ぶ。 【薬物乱用防止講座】 講演を通じ、健康についての正しい知識と実践を学ぶ。	【全学年】 いじめ防止アンケートの実施。 高校生活に関するアンケートの実施。 【2年生】 修学旅行（平和学習）において、見聞を広め、命の大切さについて学ぶ。	【家庭】 生命の誕生と成長の過程を知り、命の尊さを実感するとともに、自分もそのように育ってきた存在なのだと感じることで、自分を大切にする気持ちを養う。	【生徒指導部】 三重県いじめ防止強化月間（11月）にあわせ、いじめ反対運動「ピンクシャツ運動」等を推進し、いじめ防止の意識向上を図る。 【生徒会】 南高祭（文化祭）・クラスマッチ等において、生徒会役員を中心に生徒主体の運営を行う経験を通じて、適切な人間関係の構築、自己肯定感の高進を図る。
3学期 (1月 ～ 3月)	【クラスマッチ】 競技ルールを遵守し、他者を尊重する大切さを学ぶ。	【全学年】 1年間を振り返り、反省点や課題を見つめ、次年度の取り組みにつなげる。 【全学年】 いじめ防止アンケートの実施。	【家庭】 食生活分野の学習により、健康の確保について考察する。	【保健】 外部講師による保健教育講演会等を通じて、自他の心身の健康について学ぶ。
通年	【挨拶・身だしなみ】 挨拶・身だしなみ指導を通じて、社会のマナーやルールを守ることで、他者を尊重する大切さを学ぶ。 【長期休業中の生活指導】 長期休業前の講話を通じ、休業中の規則正しい生活を心がける。 【防災訓練・防災講話】 防災訓練を通じ、防災意識を高め、実践を学ぶ。 【防災ノート・防災プリントの配布】 各種災害に対しての心構えや実践を学ぶ。 【環境教育】 環境に関する取組を通じ、環境問題の課題を理解し、環境保全の大切さを学ぶ。 【西日野にじ学園との交流】 高等部との共同学習・西日野駅花いっぱいプランターブルなどの交流を通じ、その相互理解を促し、共に助け合い支え合って生きていくことの大切さを学ぶ。	【全学年】 ホームルーム活動、学年での活動において、他者を尊重し、異なる意見や見解を比較検討したり、自らの意見や考えを表明・表現する。 【全学年】 年6回程度の個人面談を実施し、生徒の不安や悩みなどを聞きとる。	【地歴公民】 各科目において、戦争と平和、紛争・難民、生命倫理、憲法等の分野において具体的な資料を提示しつつ学び、考察する。 【家庭】 美習やグループワークにおいて、共に課題に取り組む中で、仲間と協働する喜び、グループの一員としての自分及び仲間の存在意義を感じられる活動を目指す。	【保健】 生徒保健委員会活動（「保健だより」の発行や文化祭企画など）を通じて、時期に応じた健康管理・安全管理を啓発する。また、環境・衛生整備、健康観察、危機管理対応等を進める。 【教育相談】 関係教員と連携をとり、生徒の状況把握につとめる。 スクールカウンセラー・発達障がい支援員と連携し、生徒及び保護者との面談、様々な場面での生徒支援を進める。 【総務】 命を大切にする教育にかかる各種啓発ポスター・チラシなどの掲示・案内を進める。 【人権】 人権学習等で自他の権利を守る観点から、お互いが他人の気持ちを思いやれる人間関係の構築に努める。 現職教育等で教職員の人権意識を高める。 【生徒指導】 登下校指導（重点指導など）を通じ、交通安全やマナーに対する意識を育て、一人ひとりが安全や他人に配慮した行動ができる指導に努める。
				【各部活動】 三重県部活動ガイドライン、部活動・同好会活動運営方針に基づき、健康・安全に留意することを通じ、危険を予測、回避、対処できる能力を身につける。